

た か つ は つ
高津発

に ほ ん か い か く
日本改革!

ほりぞえ健^{けん}ニュース

2007年1月号 No.39

民主党 ほりぞえ健事務所

〒213-0033

川崎市高津区下作延266 エスビル4階
(溝の口駅徒歩2分 高津区役所隣り)

電話 044-855-1479 FAX 044-855-1489

http://www.horizoe.com

E-mail: horiken@horizoe.com

「川崎マニフェスト2007」特集

川崎市議会議員 ほりぞえ健

(事務局)

1月17日、「川崎マニフェスト」の発表がありましたね。

(堀添)

地方分権の流れの中、市民生活にとっても、地方自治体の果たす役割が年々大きくなっています。民主党として、どのような川崎市政をめざしているのかを、できるだけ具体的にお示しする必要性も高まっています。今回のマニフェストは、こうした視点に立ち作成しました。

(事務局)

堀添議員は、マニフェスト検討委員会のメンバーとして関わってききましたが、今回のマニフェストをどう評価していますか。

(堀添)

まず評価すべき点は、川崎市議会における民主党のすべての公認予定候補が、同一の政策セットをとりまとめたということです。改選結果にもよりますが、市議会の1/3を占める会派が掲げる政策セットは、今までのように各議員が個別に掲げる政策よりも、実現可能性が格段に高まります。実際、すでに行政側では、このマニフェストの中身についての検討作業も始まったようです。私たちも、この重みを考え、「あるべき論」から入るのではなく、本市が行っているすべての行政分野を一つ一つ詳細に検討することから、ボトムアップ的に作業を重ねてきました。

(事務局)

課題についてはどうでしょうか。

(堀添)

今回のマニフェストでは、分野によっては、方向性の提示に留まり、詳細レベルまで示しきれていないものもあります。これは、議会は予算編成権をもっていないことに起因する面もありますが、やはりもっともっと政策立案力を強化していかなければならないと思いました。その点からも、マニフェストの中に掲げた「議会改革」の項目は、ぜひ目を通してほしいですね。

(事務局)

「川崎マニフェスト2007」はどこで入手できるのですか。

(堀添)

民主党の各議員・予定候補の事務所で入手できます。また、近日中に民主党神奈川県連のホームページにも掲載されます。

(事務局)

ありがとうございました。



by A. Misawa

- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブーンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 民主党神奈川18区総支部幹事長代行
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女(高校1年)の3人家族



(2007年1月21日)

「川崎マニフェスト2007」は、こうして作成された！

2006年5月 マニフェスト検討委員会結成

委員長：飯塚副団長（川崎）

委員：青山議員（多摩）、伊藤議員（麻生）、織田議員（宮前）、堀添議員（高津）

+玉井団長（多摩）、潮田副団長（中原）

- 他自治体における取組状況や、公職選挙法上におけるマニフェストの調査を実施。
- 川崎市新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」の政策課題を一つ一つ検討。
- 行財政改革と議会改革については、集中的に議論を実施。

- 検討委員会の全体会だけで15回におよぶ検討。
- 従来型公約との違いを明確にするため、実現可能性を重視。

2006年10月 「川崎マニフェスト2007」詳細項目策定

- 新総合計画の7つの政策体系+行財政改革、議会改革について整理。
- 合計102項目の詳細政策項目を策定。

2006年11月 「川崎マニフェスト2007」策定

- 上記7+2分野について、28項目の政策項目を策定。

内容はこちら

2006年12月 「川崎マニフェスト2007」重点施策10策定



記者発表会（1月17日）
テレビ局、新聞社など14社に出席いただきました。

2007年3月 最終版「川崎マニフェスト2007」確定！

- 市民からの意見をもとに、最終版へバージョンアップします。

民主党神奈川県連ホームページ <http://www.dpjr.org>

「川崎マニフェスト2007」重点10施策

交番のない駅にも、市民交番（市民よろず相談所）を設置します。

交番の新規設置や警察官の常駐など、安全に対する要望が多く寄せられています。横浜市では、警察官OBや警備員などが常駐する「民間交番」を整備し、防犯ボランティア団体の活動拠点となっています。川崎方式「市民交番」として、防犯のみならず、相談機能も併設した、安全、快適なまちの拠点を設置します。

コミュニティ交通を積極的に導入整備します。

市内に56ヶ所ある交通不便地域の解消は急務です。費用負担のあり方と採算性の基準を明確にすることにより、地域の実情に密着したコミュニティ交通を充実させ、市民の移動の確保と地域の活性化を図ります。

介護予防と安心の在宅介護サービスを充実します。

介護予防、虐待防止などの権利擁護、総合相談など地域で暮らす高齢者を文字通り包括的に支える拠点、地域包括支援センターを実態に合わせて設置数を増やします。待機者の多い特別養護老人ホームの増設とともに、地域密着型介護サービスを確立し、住み慣れた地域で暮らし続けられる、安心の介護体制を構築します。

保育園待機児童ゼロを実現します。

子育てをしても安心して働けるまちをつくるために、新增設による認可保育園の定員増や定員の弾力的な受け入れをはかるなど、待機児童ゼロを実現します。もちろん、産むことへの不安も出産費補助を創設するなどで解消していきます。

現在ある4処理センター（ごみ焼却場）を3処理センターにします。

3Rの取り組みを強化し、市民1人あたり1日ごみ180グラムを減量することで、焼却量を13万トン削減します。これにより、現在4ヶ所ある焼却場が3ヶ所で処理可能となります。新たな建設費240～300億円が削減される他、年間維持費約11億円が節約されます。

緑地保全地区を1.5倍に広げます。

貴重な緑を次世代に継承します。生田緑地を川崎市最大の緑のオアシスとして拠点的な整備を進めます。また、多摩丘陵から三浦半島の先端までの12市1町にまたがる緑を自治体の広域連携で保全します。

ドラえもん、いつでも会えるね。

子供から大人まで人気のある藤子・F・不二雄氏の作品を保存・活用するための施設、アートワークス構想を実現します。その他にも、川崎にゆかりのある文化資源を大切にしながら、歴史的ロマンのあるまち「かわさき」を個性化していきます。

かわさきの原点・多摩川の魅力を輝かせます。

多摩川の整備と自然環境の保全をすすめ、川崎市の原点である多摩川の魅力を輝かせます。気軽にアクセスできるようにするとともに、利用ルールを明確にし、子どもたちが遊べる多摩川をつくります。

住民投票による市民合意により、市営地下鉄に取り組みます。

多額の整備費（1期分4246億円）を要する市営地下鉄建設。市民合意に基づいた市営地下鉄整備を進めるために、住民投票制度を活用します。

議員定数を各区1名削減します。

行財政改革プランで行ってきた職員削減率と同程度に議員定数を削減し、法定上限定数72人（現行63人）から56人に引き下げます。得られた財源の一部を、議会事務局の強化など、市政に市民意思を反映するための体制強化に充てます。

第28回 「川崎市政に参加する会」のご案内

私たちの住む川崎市を「安心して暮らせるまち」にしていくためには、私たちの手でもっともっと変えていかなければならないと思います。

一人一人の主権者の皆様とともに、新しい川崎市のあり方について、勉強し、議論し、実行していく場として、「川崎市政に参加する会」を開いています。

毎月、その時々にあったテーマを設定し、開催しておりますので、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

第28回 2月16日(金)午後7時～ 高津市民館
「川崎マニフェスト2007」

～民主党がめざす川崎市政

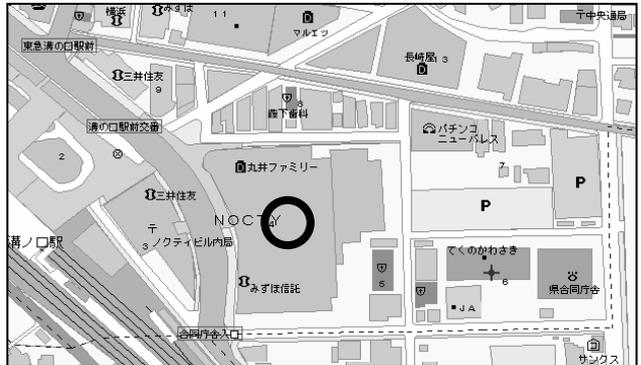


日時：2007年2月16日(金)
午後7時から8時半まで。

場所：高津市民館 第1会議室

溝の口駅前マルイファミリー

溝口1-6-10 044-812-1090



このニュースはご自宅にも無料で配送しております。毎月確実にご覧になりたい方は、ほりぞえ健事務所までご連絡ください。(電話：855-1479)

連載コラム 川崎と高津の地名 (No.18) 参考：上田恒三著「高津村風土記稿」日本地名研究所編「川崎の町名」

「野川」の由来

野川の地名は、影向寺十二神将のうちの一体の頭部に「武州野河郷」という文字が残っています(享祿4年/1531年)。また、永祿2年(1559年)の「小田原衆所領役帳」には「小机野川」と記されていますので、遅くとも室町時代には地名として使われていたようです。

野川の地名の由来は、南北の丘陵の間を流れる矢上川が「野川」と呼ばれ、それに沿った集落ということで「野川(河)」となったのではないかと推定されています。

江戸時代には、野川は上野川村と下野川村とに分かれましたが、明治8年、再び一村に戻りました。明治22年の市制・町村制で宮前村大字野川となり、昭和13年に川崎市に編入されました。

区政施行時には全域が高津区となりましたが、昭和57年の分区により、概ね第三京浜を境に、高津区と宮前区とに分かれています。



政治資金ご寄附のお願い

地元から日本改革を実現するために、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

「ほりぞえ健後援会」宛

郵便振替：高津郵便局 口座00270-1-24169

銀行振替：川崎信用金庫 高津支店 普通0796294

最近書店で「掃除」関連の書籍をよく目にします。掃除をする「仕事」がうまくいくようになる「人間関係が好転する」など、様々な効果が謳われています。▼そうした「掃除」の素晴らしさを、ずっと以前から提唱してきた山秀三郎さんのビデオや著作を見させていただきました。機会があったら、この紹介するまでも無い高名な方だ、自動車の部品で、売会社イェロハットの創業者で、現在は相談役を務めておられます。▼会社の立ち上げ当初、なかなか業績が上がらず、社員の士気も低下していき、何となく社員の士気を下げていく中、考えて、トイレス掃除を始めたいと、掃除の精神や方法を伝えていく。掃除を通じ社会や人の心を取り除き方を学ぼうという組織が国内外に広がっているという。▼映像からは「掃除をさせていたという謙虚で温かなお人柄が伝わってくるが、同時に「例外を作らない」という強靱な意志に驚かされる。地方への出張のときを除いて、土日も掃除をお休みにならないそうだ。それらを四〇年以上も続ける。一見平凡なことを徹底して行い続けることは本当に難しいが、それが人々の心を動かす。▼物事を達成させる要となるのだから、期切れ原料の使用やテレビ番組の捏造問題など、企業のモラルが問われる事件が相次いでいる。私たちが民主主義でも、昨年様な問題が噴出した。鍵山さんをはじめ、私たちの祖父・父、母さんの方々にあっては当然のこと。父は、自分の持ち場で辛抱強く誠実に働いてきたという姿勢を改めて学びながら、努力を惜しまないと思う。(事務局ゆ)